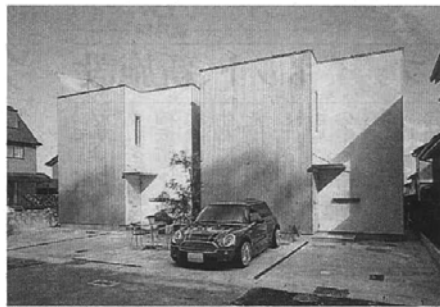


と安成
ハイアス
安成工務店

戸建て賃貸新ブランド

「ウィルスタイル」施工組織を統合

住宅、建設のコンサルティング事業を手掛けるハイアス・アンド・カンパニー（東京・港、濱村聖一社長）と注文住宅施工の安成工務店（山口県下関市、安成信次社長）は、戸建て賃貸住宅の新ブランドを立ち上げた。工務店や建設会社などで構成する両社の会員制ネットワークを統合。会員230社、供給数約1500戸と新築戸建て賃貸住宅で最大の組織となる。ブランド統一を機に商品群を増やし、土地所有者に建設を促す。



これまで安成工務店が開発し、ハイアスが全国展開していた戸建て賃貸のネットワーク「ユニキユーアサプライヤーズクラブ」と「メゾネットサプライヤーズクラブ」を、新ブランド「ウィルスタイル」に一本化した。今後は傘下にユニキユーアとメゾネットの商品

・ブランドを継続して展開するほか、新商品も開発・販売する計画だ。従来は2ブランドに分かれていたため、営業面やコストで効率が上がらなかったという。

主力のユニキユーアは180平方メートル程度の土地に2棟1階で建築する戸建て賃貸住宅で、間取りは3LDK、延べ床面積は70平方メートル。外構工事なども含めて価格は1800万円程度。メゾネットタイプの「エコパティオ」は2階建て。

いずれも天然の木質繊維を使った断熱材を使用する独自の「デコストライ工法」を導入している。新築戸建て賃貸を手がける会社は多いものの、累計で200戸程度の供給戸数にとどまっているという。新設貸家の市場が縮小する中、戸建ての比率は増加しており、ブランド統一でシェアを伸ばす好機と判断した。

ハイアス・アンド・カンパニーが展開する主力の戸建て賃貸住宅「ユニキユーア」